



TITLE:

付録6:第14回大学教育研究フォー
ラム (平成20年3月26日および27日,
於 京都大学) プログラム

AUTHOR(S):

CITATION:

付録6:第14回大学教育研究フォーラム (平成20年3月26日および27日,
於 京都大学) プログラム. 京都大学高等教育叢書 2008, 26: 336-350

ISSUE DATE:

2008-02-29

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/54066>

RIGHT:

付録6 第14回大学教育研究フォーラム
(平成20年3月26日および27日,
於 京都大学) プログラム

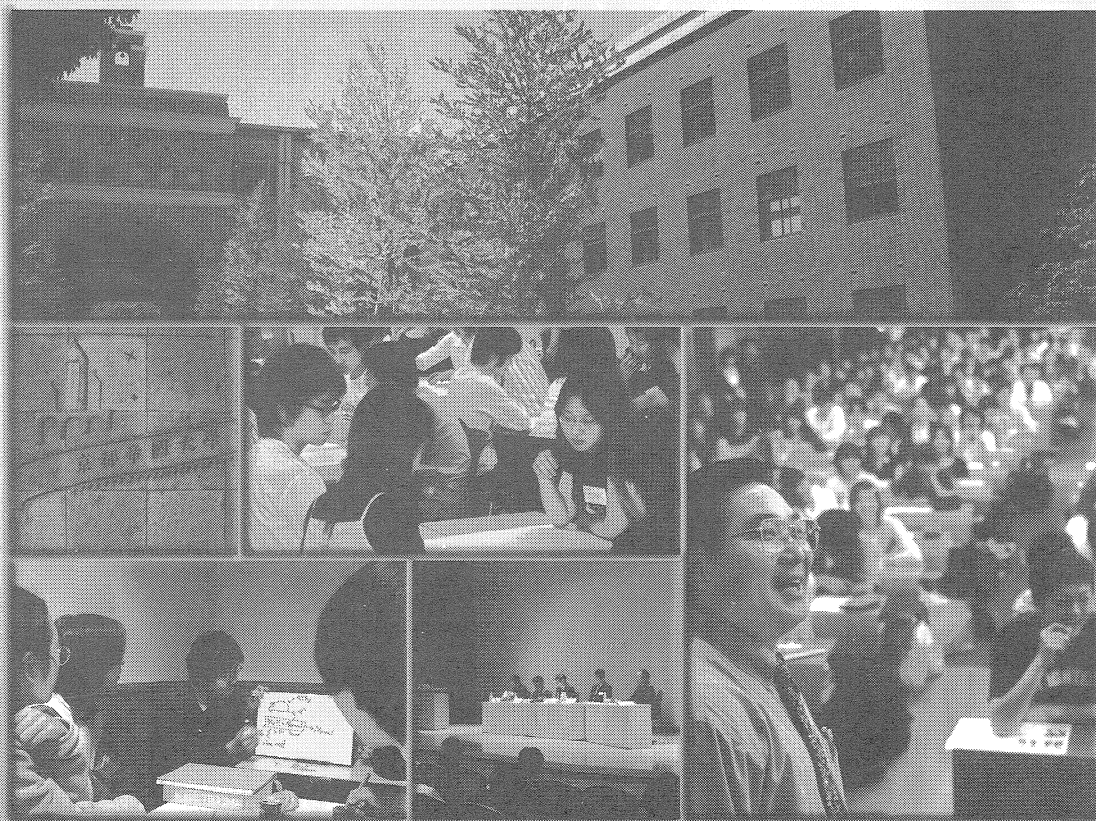
第14回 大学教育研究フォーラム

プログラム

2008.3/26_{WED}・27_{THU}

会場 京都大学 吉田キャンパス

- ◆個人研究発表・ラウンドテーブル企画◆ 吉田南1号館
- ◆基調報告・シンポジウム◆ 百周年時計台記念館・1F 百周年記念ホール
- ◆情報交換会◆ 百周年時計台記念館・2F 国際交流ホール



主催 京都大学高等教育研究開発推進センター

(本研究フォーラムは特色GP「相互研修型FDの組織化による教育改善」の一環です)

※本プログラムは下記Web上で、PDF版を公開しています。

<http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/>

第 14 回大学教育研究フォーラム 日程

◆ 日 時 : 2008 年 3 月 26 日 (水) ~ 27 日 (木)

◆ 会 場 : 京都大学 吉田キャンパス

【個人研究発表・ラウンドテーブル企画】 吉田南 1 号館

【基調報告・シンポジウム】 百周年時計台記念館・1F 百周年記念ホール

【情報交換会】 百周年時計台記念館・2F 国際交流ホール

3 月 26 日 (水)

受 付 開 始 8 : 00 ~ 【吉田南 1 号館】

個人研究発表 (1) 9 : 00 ~ 10 : 45 【吉田南 1 号館・各会場】

9 : 00 ~ 9 : 20 個人発表①

9 : 20 ~ 9 : 40 個人発表② * 1 人あたりの時間 20 分

9 : 40 ~ 10 : 00 個人発表③ (発表時間 15 分 + 質疑応答 3 分 + 2 分交代)

10 : 00 ~ 10 : 20 個人発表④

10 : 20 ~ 10 : 45 全体討論

小 講 演 (1) 11 : 00 ~ 12 : 00 【吉田南 1 号館・各会場】

基調報告／シンポジウム 13 : 00 ~ 17 : 00 ... 【百周年時計台記念館・1F 百周年記念ホール】

開会の挨拶 13 : 00 ~ 13 : 10 尾池 和夫 (京都大学総長)

基 調 報 告 13 : 10 ~ 14 : 10

「相互研修型 FD の組織化」(特色 GP 成果報告)

田中 每実 (京都大学高等教育研究開発推進センター長)

シンポジウム 14 : 25 ~ 17 : 00

「相互研修型 F D の組織化をめぐる」 (特色 GP 評価シンポジウム)

14 : 30 ~ 評価コメント 1 絹川 正吉 (国際基督教大学元学長・名誉教授)

評価コメント 2 天野 郁夫 (東京大学・名誉教授)

評価コメント 3 関内 隆 (東北大学高等教育開発推進センター高等教育開発部長・教授)

評価コメント 4 山内 正平 (千葉大学国際教育センター長／普遍教育センター・教授)

16 : 00 ~ 17 : 00 全体討論

司 会 大塚 雄作 (京都大学高等教育研究開発推進センター・教授)

松下 佳代 (京都大学高等教育研究開発推進センター・教授)

情 報 交 換 会 17 : 30 ~ 19 : 30 【百周年時計台記念館・2F 国際交流ホール】

3月27日(木)

個人研究発表(2) 9:00~10:45【吉田南1号館・各会場】

9:00~9:20 個人発表①

9:20~9:40 個人発表②

* 1人あたりの時間20分

9:40~10:00 個人発表③

(発表時間15分+質疑応答3分+2分交代)

10:00~10:20 個人発表④

10:20~10:45 全体討論

小 講 演(2) 11:00~12:00【吉田南1号館・各会場】

ラウンドテーブル企画 13:30~16:00【吉田南1号館・各会場】

3月26日(水)

第1日(3月26日)

個人研究発表(1) 9:00~10:45 吉田南1号館

A-1. 教育評価研究部会

座長: 牧野治敏 【会場: 共312】

CS分析を利用した授業の評価と改善(1) - 授業種別ごとのCS分析結果の比較 -

南 学・中西良文(三重大大学教育学部)

CS分析を利用した授業の評価と改善(2) - CS分析結果は教員にどう受け取られるか? -

中西良文・南 学(三重大大学教育学部)

授業改善に向けた授業アンケートの活用

安野舞子(創価大学教育・学習活動支援センター)

オムニバス形式型導入教育の再編成とその評価

尾澤重知・牧野治敏(大分大学高等教育開発センター)・西村善博(大分大学経済学部)

B-1. カリキュラム研究部会

座長: 鈴木真理子 【会場: 共313】

教員養成型PBL教育の課題と展望Ⅲ - 学生の省察とCS分析の比較を通して -

根津知佳子・森脇健夫・松本金矢(三重大大学教育学部)

アメリカの若手教育者・研究者養成制度の現状と課題 - 日米比較の視点から -

吉良 直(日本教育大学院大学)・北野秋男(日本大学)

「優等学生」の特別措置と類型、および「優等学院」に対する教育学部生の意識

北垣郁雄・李 東林・藤井宣彰(広島大学高等教育研究開発センター)

卒業研究プロジェクトのふりかえり - ある初任教師のナラティブ -

鈴木真理子(滋賀大学)・木下裕也(高島市立今津東小学校)

C-1. 授業研究部会

座長: 堀 哲夫 【会場: 共208LL】

FD研究: 授業分析における「授業場面」の重要性について - 授業を「解り易く手直しする」上で大切なこと -

日下和信(大阪キリスト教短期大学)

貿易取引シミュレーションを活用した授業

西 道彦(長崎県立大学経済学部)

ESシートを活用した継続的な授業改善の試み

小川 勤(山口大学大学教育機構大学教育センター)

学習履歴を中心にした授業改善に関する研究

堀 哲夫(山梨大学教育人間科学部)

3月26日(水)

C-2. 授業研究部会

座長：木野 茂 【会場：共B02】

映画を用いた授業における英文 Essay Writing プロジェクト

西村月満（北里大学一般教育部）

英語教育を通しての人格教育－人生をテーマにしたリーディング授業についての一考察－

寶壺貴之（愛知産業大学造形学部）

学部教育におけるアカデミック・ライティング講義の基礎研究

古内潤一（京都大学大学院経済学研究科）

ICT の活用を成績評価に反映させる試み

木野 茂（立命館大学大学教育開発・支援センター）

D-1. FD・授業公開研究部会

座長：川野卓二 【会場：共207LL】

大規模私立大学における授業支援の組織運営と学生を活用した効果

遠海友紀・岩崎千晶（関西大学大学院総合情報学研究科）・

村上正行（京都外国語大学マルチメディア教育研究センター）

学生の学びに根ざした FD－理学療法教育における OSCE リフレクション法と FD 実践－

平山朋子（藍野大学医療保健学部）・松下佳代（京都大学高等教育研究開発推進センター）

学生参画型 FD イベント「あったらいいな！こんな授業」の開催

吉田雅章（和歌山大学経済学部）

6年間にわたる全学的なFD推進プログラムから見てきたこと

川野卓二・神藤貴昭・宮田政徳・曾田紘二（徳島大学大学開放実践センター）

E-1. e-Learning・遠隔教育研究部会

座長：松葉龍一 【会場：共B01】

遠隔教育 e-Learning 環境における「場」の創造－知のモード論から“ムード論”への展開－

河又貴洋（県立長崎シーボルト大学国際情報学部）

個別学習と協調学習の共存を実現する会計学習支援システムの開発

林 俊邦・福田 宏・上野雄史（静岡県立大学経営情報学部／大学院経営情報学研究科）・

小津稚加子（九州大学大学院経済学研究院）

共通教育科目「TOEIC 準備」向け web オンライン自習教材

岡田耕一（山口大学大学教育センター）・宮崎充保（山口大学国際センター）

オンライン学習者のためのオンラインによるオリエンテーション科目の実施

松葉龍一・高橋 幸・根本淳子・北村士朗・喜多敏博・中野裕司・鈴木克明

（熊本大学大学院社会文化科学研究科）

3月26日(水)

小講演(1) 11:00~12:00 吉田南1号館

「FD する人」と「一般教員」のいい関係とは?【会場: 共207LL】

神藤 貴昭 (徳島大学大学開放実践センター・准教授)

【司会】田口 真奈 (メディア教育開発センター・准教授)

学校化する大学での“協同学習”のすすめ【会場: 共311】

関田 一彦 (創価大学教育学部・教授/教育・学習活動支援センター長)

【司会】溝上 慎一 (京都大学高等教育研究開発推進センター・准教授)

医療系教育におけるFDの展開【会場: 共208LL】

平出 敦 (京都大学大学院医学研究科/医学教育推進センター・教授)

【司会】松下 佳代 (京都大学高等教育研究開発推進センター・教授)

自学自習の伝統とライティング教育の試み【会場: 共313】

竹澤 祐丈 (京都大学大学院経済学研究科・准教授)

【司会】小山田耕二 (京都大学高等教育研究開発推進センター・教授)

3月26日(水)

基調報告／シンポジウム 13:00～17:00 百周年時計台記念館・1F百周年記念ホール

開会の挨拶 13:00～13:10

尾池 和夫(京都大学総長)

基調報告 13:10～14:10

「相互研修型FDの組織化」(特色GP成果報告)

田中 每実(京都大学高等教育研究開発推進センター長)

シンポジウム 14:25～17:00

「相互研修型FDの組織化をめぐる」(特色GP評価シンポジウム)

趣旨

京都大学高等教育研究開発推進センターのプロジェクト(「相互研修型FDの組織化による教育改善」)は、平成16年度に文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」(いわゆる「特色GP」)に採択され、今年度、最終年度を迎えることになりました。この間、大学院設置基準、大学設置基準でFDが法制的に義務化されたこともあって、私たちのプロジェクトを含むさまざまなFDプロジェクトに対して、熱い視線が送られることになりました。

私たちのプロジェクトでは、ごく普通の大学教員が日常的に繰り返している教育改善の組織化を、めざしてきました。最初の年度は、京大内で最大の学生集団を抱える工学部・工学研究科のFDを支え、そこから学ぶことから始め、次年度以降では、工学部との連携を実質化するとともに、さらに、同僚性を生かした相互研修の輪を、1)京大のFD研究検討委員会の組織化によって学内全体に広げ、2)関西地区FD連絡協議会の組織化によって関西地区全体に広げ、3)大学教育研究フォーラムを充実させ大学教育学会など関連学会と連携することによって全国に広げ、4)欧米やアジアの国々の関係者との連携を結ぶことによって国際レベルにも広げつつあります。こうして私たちは、「相互研修型FDの組織化」を学内レベル、地域レベル、全国レベル、国際レベルへと拡大し、センターをFD組織化拠点へと形成するべく努めてきました。このうち、特色GPの支援による直接の成果は1)ですが、それは、1)～4)からなる「相互研修型FDの組織化」の全体構造の中に位置づけられて、いっそう意味を明確にします。

ところで、相互研修型FDの同僚性・相互性は、とかく組織化によって傷つけられがちですし、逆に、FDの組織化は、同僚性・相互性の重視によって妨げられがちです。「相互研修型FDの組織化」という課題は、うちに矛盾を抱えているのです。しかしFDへの関心が普遍的に強められれば強められるほど、FDの組織化は、もっぱらどこでもやれそうで擬似普遍的なくトップダウンでリニアな工学的経営学的なやり方>でなされがちです。このやり方が、現場のごく普通の教員たちの日常的教育改善の努力を窒息させがちであるのは、よく知られた事実です。相互研修型FDの組織化の達成如何は、私たちにとって重大な関心事であるばかりではないのです。

本基調報告では、この私たちのプロジェクトについて報告し、これに引き続くシンポジウムで、会場の皆さんとともにこのプロジェクトについてその成否や当否などを考えてみたいと思います。

14:30～

評価コメント1

絹川 正吉(国際基督教大学元学長・名誉教授)

評価コメント2

天野 郁夫(東京大学・名誉教授)

評価コメント3

関内 隆(東北大学高等教育開発推進センター高等教育開発部長・教授)

評価コメント4

山内 正平(千葉大学国際教育センター長／普遍教育センター・教授)

16:00～17:00 全体討論

司会:大塚 雄作(京都大学高等教育研究開発推進センター・教授)

松下 佳代(京都大学高等教育研究開発推進センター・教授)

3月27日(木)

第2日(3月27日)

個人研究発表(2) 9:00~10:45 吉田南1号館

A-2. 教育評価研究部会

座長: 澤田忠幸 【会場: 共311】

アメリカのIRの機能についての検討

林しずえ(同志社大学大学院社会学研究科)

専門職高等教育の質的保証ー医療系高等教育におけるグローバル化への対応ー

稲葉めぐみ(東京大学大学院教育学研究科)

学生の自己学習評価としての総括的授業評価の活用ー学生の心理特性との関連を含めてー

澤田忠幸(愛媛県立医療技術大学保健科学部)

C-3. 授業研究部会

座長: 鈴木宏昭 【会場: 共312】

ディベートと相互評価でレポートの質を向上させる

茅島路子・河野哲也・國見保夫(玉川大学文学部)

数学力低下は数学教育力低下が原因

船倉武夫(千葉科学大学危機管理学部)

Peer review 活動によるレポートライティングスキルの向上

白石藍子(青山学院大学大学院文学研究科)・鈴木宏昭・小田光宏・

杉谷祐美子(青山学院大学文学部)・長田尚子(青山学院大学大学院文学研究科)

初年次生を対象としたレポートライティング教育とBlogの利用ー2つの授業の比較検討を通してー

杉谷祐美子・鈴木宏昭・小田光宏(青山学院大学文学部)・長田尚子・

小林至道(青山学院大学大学院文学研究科)

C-4. 授業研究部会

座長: 田地野彰 【会場: 共207LL】

教師と学生の主体的参加による授業改善ー15年間の総括と展望ー

伊藤秀子((独)メディア教育開発センター研究開発部)

文章表現教育へのリーディング・リテラシーの導入ー医学部初年次教育における改革案ー

三原祥子(東京女子医科大学医学部)・松本 茂(立教大学経営学部)

国際社会で通用する自己表現力の育成に向けてー英国における自己表現力育成を参考にー

羽井佐昭彦(相模女子大学)・村田久美子(早稲田大学)・田地野彰(京都大学)・

寺内 一(高千穂大学)

3月27日(木)

C-5. 授業研究部会**座長：寺西和子**【会場：共 B01】

学生を講義に参加させる授業作りの工夫－思考実験の活用－

池田幸夫（山口大学教育学部）

学生が主体的に取り組む映像制作実習のデザイン－小学校向け英語映像教材の制作－

岩崎千晶（関西大学大学院総合情報学研究科）・

村上正行（京都外国語大学マルチメディア教育研究センター）・久保田賢一（関西大学総合情報学部）

初度導入ゼミにおける「学生ポートフォリオ」の作成とその効果－焦点化ポートフォリオの作成を通して

寺西和子（千里金蘭大学生活科学部）

ユニバーサルアクセス段階における大学での情報教育の実践

寺川佳代子（常磐会学園大学国際コミュニケーション学部／京都大学大学院情報学研究科）・

喜多 一（京都大学大学院情報学研究科／学術情報メディアセンター）

E-2. e-Learning・遠隔教育研究部会**座長：加藤由香里**【会場：共208LL】

ICTを活用したFDシステムの構築

江本理恵・後藤尚人（岩手大学大学教育総合センター）

高専教育における教育改善FD組織化の取り組み

小林秀紹・坪川武弘・芳賀正和・米田知晃・斉藤 徹・津田良弘・辻野和彦・

小寺光雄（福井工業高等専門学校創造教育開発センター）

ICTを活用したeラーニング教育手法に関するFD研修の試み

江木啓訓・加藤由香里・須田良幸（東京農工大学）

教員向けeラーニングコンテンツ作成支援のあり方と今後の課題

－Technology Push から Requirement Pull へ－

加藤由香里・江木啓訓・梅田倫弘（東京農工大学）

F-1. 大学生・大学生生活研究部会**座長：杉原真晃**【会場：共 B02】

オープン・キャンパスの最適日－8月1日と11月3日と－

菅野憲司（千葉大学文学部）

女子大学における学生の満足度要因の重要度に関する3次元分析

星野敦子・安達一寿・若山皖一郎・中尾茂子・阿部 史（十文字学園女子大学社会情報学部）

静岡県立大学国際関係学部生に見る「将来やりたいことがない」の決定要因について

津富 宏（静岡県立大学国際関係学部）

大学生によるカリキュラムデザイン－教養教育科目の選択と有機的関連づけの支援－

杉原真晃（山形大学高等教育研究企画センター）

3月27日(木)

小講演(2) 11:00~12:00 吉田南1号館

東京大学における「教育の情報化」 【会場:共207LL】

重田 勝介 (東京大学大学総合教育研究センター・特任助教)

中原 淳 (東京大学大学総合教育研究センター・准教授)

【司会】田口 真奈 (メディア教育開発センター・准教授)

学生を理解するために「解離モデル」という視点 【会場:共312】

大山 泰宏 (京都大学大学院教育学研究科・准教授)

【司会】大塚 雄作 (京都大学高等教育研究開発推進センター・教授)

中教審と学士課程教育 【会場:共311】

鈴木 敏之 (文部科学省高等教育局・企画官)

【司会】田中 每実 (京都大学高等教育研究開発推進センター・教授)

教育評価を中心とした大学生の成長の促進

ーアンケートフィードバックシステムを用いた学習者自身によるPDCAシステムの構築を目指してー

..... 【会場:共208LL】

中西 良文 (三重大学教育学部/高等教育創造開発センター・准教授)

【司会】溝上 慎一 (京都大学高等教育研究開発推進センター・准教授)

3月27日(木)

ラウンドテーブル企画 13:30~16:00 吉田南1号館

リベラル・アーツにおける1年次英語教育のあり方

ー実社会を視野に入れた「自己への気づき」学習をめざしてー 【会場:共313】

企画: 金岡 正夫 (鹿児島大学教育センター)

話題提供: 金岡 正夫 (鹿児島大学教育センター)

指定討論: 渡辺 敦子 (国際基督教大学教養学部)

種村 完司 (鹿児島大学教育学部)

溝上 慎一 (京都大学高等教育研究開発推進センター)

司 会: 金岡 正夫 (鹿児島大学教育センター)

大学における英語多読授業の実践とその効果 【会場:共207LL】

企画: 神田みなみ (平成国際大学法学部)

山本 昭夫 (学習院高等科・学習院大学外国語教育研究センター)

話題提供: 高瀬 敦子 (近畿大学法学部)

上田 敦子 (茨城大学大学教育センター)

山本 昭夫 (学習院高等科・学習院大学外国語教育研究センター)

神田みなみ (平成国際大学法学部)

司 会: 神田みなみ (平成国際大学法学部)

高等教育センター若手教員の奮闘 【会場:共312】

企画: 村上 正行 (京都外国語大学マルチメディア教育研究センター)

杉原 真晃 (山形大学高等教育研究企画センター)

話題提供: 杉原 真晃 (山形大学高等教育研究企画センター)

細川 和仁 (秋田大学教育推進総合センター)

尾澤 重知 (大分大学高等教育開発センター)

松河 秀哉 (大阪大学大学教育実践センター)

指定討論: 田中 每実 (京都大学高等教育研究開発推進センター)

司 会: 村上 正行 (京都外国語大学マルチメディア教育研究センター)

3月27日(木)

学生支援の位置づけとその評価—認証評価・GP・FD— 【会場：共311】

企 画：青野 透（金沢大学大学教育開発・支援センター）

話題提供：青野 透（金沢大学大学教育開発・支援センター）

早田 幸政（金沢大学大学教育開発・支援センター）

西山 宣昭（金沢大学大学教育開発・支援センター）

堀井 祐介（金沢大学大学教育開発・支援センター）

渡辺 達雄（金沢大学大学教育開発・支援センター）

指定討論：小島佐恵子（北里大学高等教育センター）

司 会：青野 透（金沢大学大学教育開発・支援センター）

心理学者、FD 研修への挑戦 【会場：共208LL】

企 画：山田 剛史（島根大学教育開発センター）

藤田 哲也（法政大学文学部／FD 推進センター）

話題提供：神藤 貴昭（徳島大学大学開放実践センター）

指定討論：長濱 文与（久留米大学比較文化研究所）

藤田 哲也（法政大学文学部／FD 推進センター）

司 会：山田 剛史（島根大学教育開発センター）

学習者間インタラクションを通じた批判的思考力と高次リテラシーの育成 【会場：共 B02】

企 画：楠見 孝（京都大学教育学研究科）

話題提供：楠見 孝（京都大学教育学研究科）

鈴木 宏昭（青山学院大学文学部）

岩男 卓実（関東学院大学教職課程）

富田 英司（九州大学人間環境学研究院）

司 会：道田 泰司（琉球大学教育学部）

参加方法等について

- ◆ 参加資格 大学教育関係者、もしくは大学教育に関心のある方。

- ◆ 参加費用 発表論文集等の資料代として1,000円を当日受付にて申し受けます。

- ◆ 参加申込の方法
 次のいずれかの方法で、平成20年2月15日（金）までに、お申し込みください。
 1. 高等教育研究開発推進センターのHPの入力フォームから、オンラインで申し込む。
 2. 下記のファクス用フォームを使用し、FAXにて申し込む。
 3. 高等教育研究開発推進センターのHPより、FAX用フォーマットをダウンロードし、FAXにて申し込む。

- センターHP：<http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp>
 F A X 宛 先：京都大学高等教育研究開発推進センター FAX 075-753-6691

- ◆ 情報交換会について 初日（3月26日）午後5時半より、百周年時計台記念館・2階国際交流ホールにて、講師の先生方を囲んで情報交換会を開催いたします（会費5,000円）。こちらも含めて、お申し込みをお待ちしております。会費は当日、受付にてお支払いください。

参加申込書（FAX用）

所 属	
職 名	
(ふりがな) 氏 名	
連絡先 (自宅・勤務先)	〒
TEL	
e-mail	
備 考	
情報交換会 (5,000円)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> ● 参加する ● 参加しない </div> <small>(注) キャンセルの方は、3月24日（月）までにご連絡下さい。申し込みをされて当日お越しにならない場合には、後日請求をさせていただきます。あらかじめご了承下さい。</small>

会場地図



主な交通機関

地下鉄烏丸線・今出川駅より

市バス203系統「銀閣寺道・錦林車庫」行「百万遍」下車
市バス201系統「百万遍・祇園」行「京大正門前」下車

京阪・出町柳駅より

市バス201系統「祇園・みづ」行「京大正門前」下車
又は、東へ徒歩約20分

阪急・河原町駅、京阪・四条駅より

市バス31系統「熊野・岩倉」行「京大正門前」下車
市バス201系統「祇園・百万遍」行「京大正門前」下車

※自家用車でのご来場は、ご遠慮ください。